

稲作農家 各位

山武稲作情報 第2報

(2025年6月5日発行)



山武農業事務所 改良普及課
TEL: 0475-54-0226
FAX: 0475-52-7914

山武地域の生育状況

現在、山武地域の水稻の生育量は、葉齢以外は全体的に少なく推移しています。特に、「コシヒカリ」「ふさおとめ」の茎数は、平年と比較して生育量が少ない状態にあります。これは移植後の苗の活着遅れや、5月下旬の気温が平年値よりも低く、さらに日照時間も少なく推移したことが考えられます。今後、幼穂形成期の目標茎数(「コシヒカリ」は目標穂数)の80%を確保できているか確認し、中干しを実施しましょう。また、今後の気温は平年と比較して、高く推移する見込みです。病害虫の発生や生育の早まり等に注意しましょう。

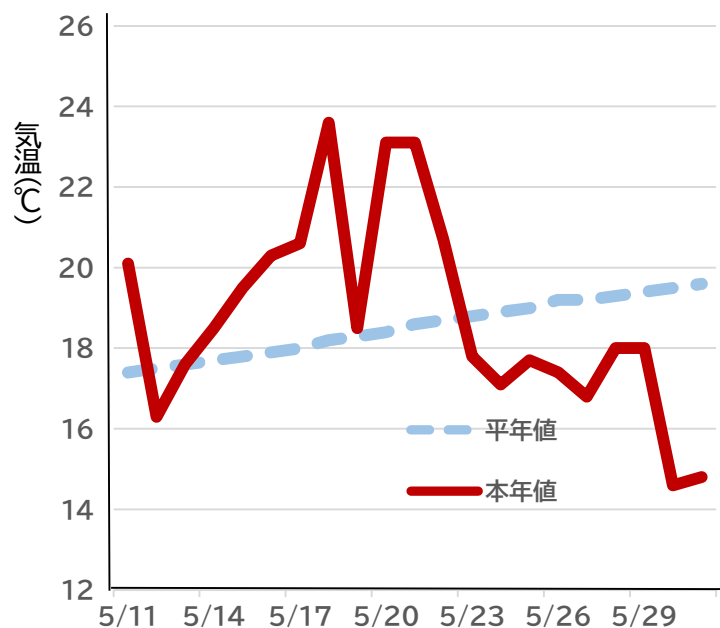


図1 日平均気温の推移(アメダス、横芝光)

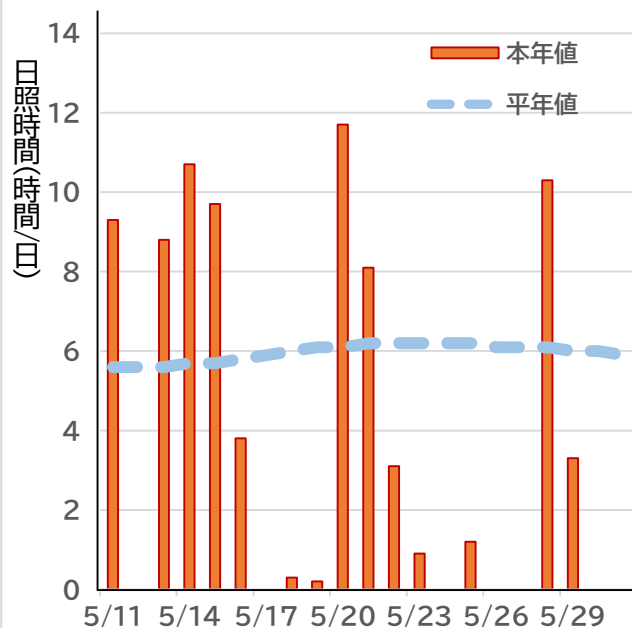


図2 日照時間の推移(アメダス、横芝光)

農作物病害虫雑草防除指針について

千葉県ホームページに「農作物病害虫雑草防除指針(付 植物成長調節剤使用指針)」が掲載されています。本指針は、県内で栽培される主な農作物に発生する病害虫について、農薬の選び方に加え、農薬以外の対策に関する情報を掲載しています。

※利用される方は、「利用に当たって」のページを必ず確認してください。

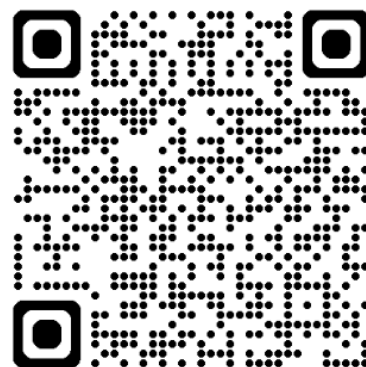


図3 県 HP(農作物病害虫防除指針)

◇今年のスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の状況について

○山武管内における発生数と被害状況について

この冬(2024年12月～2025年2月)の気温は概ね平年並みであったため、今年も多くのスクミリンゴガイが越冬しています。貝の大きさは1～3cmの小～中型が多く、5月中旬時点での被害は比較的少ない状況です。被害が大きいほ場は田面の凹凸が大きい傾向にあります。水稻が小さく田面の状態が見える今のうちに、ほ場全体の凹凸の状態を記録しておき、翌年の代かき時に田面が高い部分から低い部分へ土を動かして均平をとるか、収穫後に専用機械で均平化をしましょう。

◇いもち病の防除について



6月に入り、梅雨の時期になるといもち病が発生しやすい気候になります。日陰で風通しの悪いほ場や、肥料過多のほ場では「いもち病」の発生に注意しましょう。また、遅植えや砂地のほ場は肥料が短期間で効き、肥料過多の状態になりやすいため特に注意が必要です。補植用の取り置き苗もいもち病の温床となりやすいため、取り置き苗は早めに処分しましょう。

いもち病防除は、病害発生後も可能ですが、病害発生前の予防が最も効率的です。例年いもち病が発生しやすいほ場では予防を心がけましょう。葉いもちに対しての予防の場合、薬剤使用適期が「初発〇日前」や、「初発時」の薬剤が多いです。自分のほ場でいもち病を最初に確認した日を作業日誌に記録し、翌年以降の散布時期の参考にすると効率的な予防ができます。ほ場によって発生時期は変わりますが、例年山武管内では6月下旬頃にいもち病の発生が確認されています。普段いもち病が発生しないほ場でも、見回りをして早期発見に努め、もし発見が遅れて多発してしまったほ場については、治療効果のある薬剤を散布しましょう。

○両総用水の止水期間について

今年度の両総用水の止水期間は6月16日から6月30日までの予定です。

生育調査結果(6月2日現在)

*本年値の()内は平年値との差を示しています。

コシヒカリ

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉齢	葉色(CS*値)
東金市	本年	29.0(81%)	252.0(78%)	8.4(106%)	3.8(85%)
4/26 移植	前年	35.4	287.1	7.8	5.1

ふさこがね

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉齢	葉色(CS*値)
山武市	本年	29.4(103%)	298.6(117%)	8.0(123%)	4.7(96%)
5/3 移植	前年	28.9	255.1	6.4	5.1

ふさおとめ

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉齢	葉色(CS*値)
山武市	本年	21.5(77%)	165.2(52%)	8.2(104%)	4.6(94%)
5/2 移植	前年	26.9	294.6	7.8	5.0

アキヒカリ

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉齢	葉色(CS*値)
山武市	本年	37.7(94%)	448.9(134%)	8.2(104%)	4.7(93%)
4/23 移植	前年	40.4	436.6	7.7	5.2

幼穂形成期予測(6月2日現在)*

移植日	品種				
	コシヒカリ	ふさこがね	ふさおとめ	粒すけ	アキヒカリ
4/20	6/24	6/16	6/15	6/23	6/13
5/1	6/29	6/22	6/20	6/29	6/19
5/15	7/7	6/29	6/28	7/7	6/27

*幼穂形成期とは幼穂が1~2mmになる時期のことを指しています。

*予測日は水稻生育予測システム「でるた™」(運用試験版)を用いて予測しています(アメダス横芝光)。移植時の苗の葉齢、活着状況、ほ場の気象条件、予測日以降の気象条件により誤差がある場合があります。

千葉県水稻温暖化対策研究室 成東育成地による生育調査結果(6月2日現在)

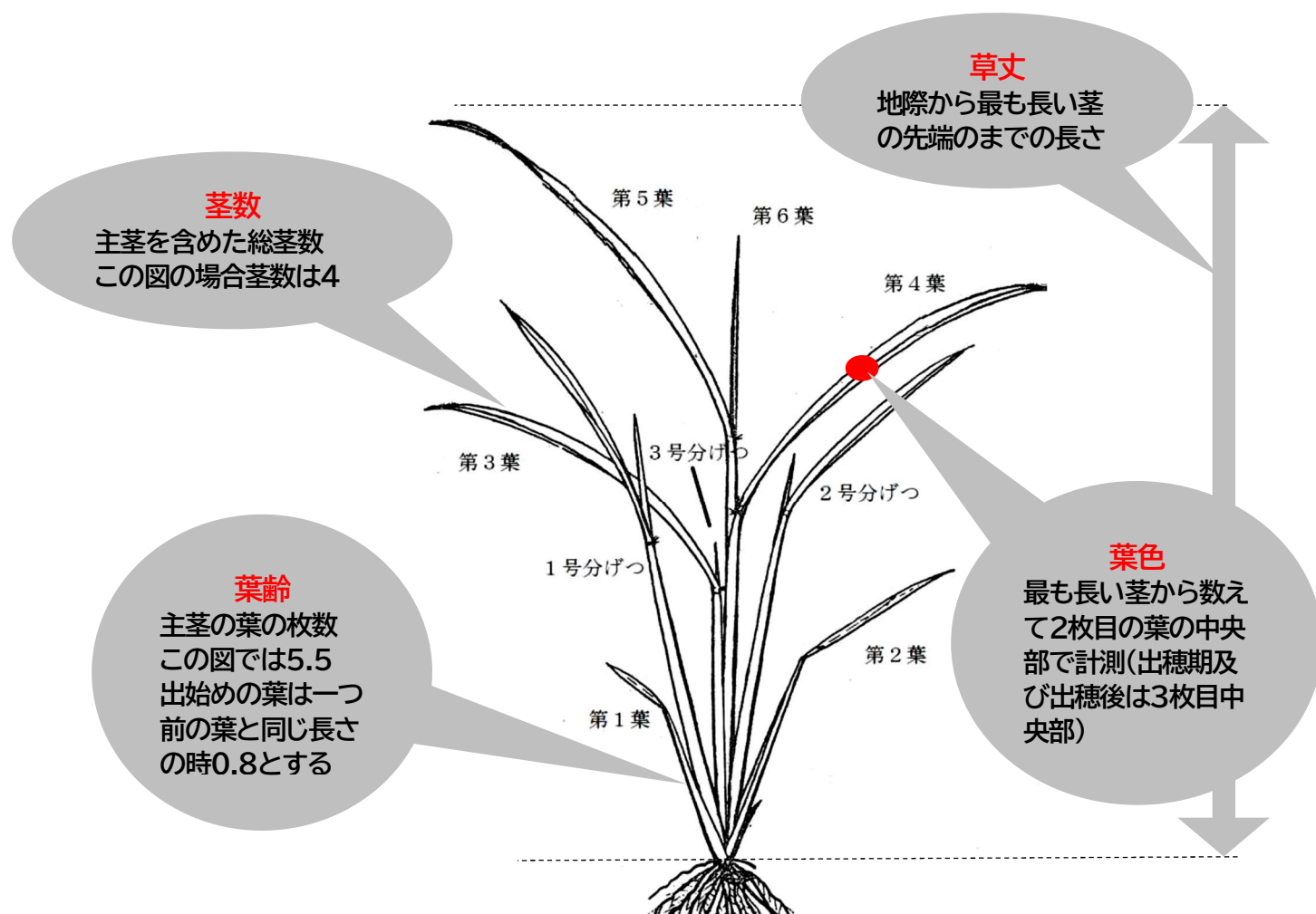
*調査は全て山武市で行われています。

*本年値の()内は平年値(過去10年)との差を示しています。

品種・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉齢	葉色(CS*値)
コシヒカリ 4/25移植	本年	34.1(94%)	273.2(63%)	7.4(91%)	5.1(99%)
	前年	42.9	433.2	8.3	5.3
ふさこがね 4/25移植	本年	29.8(91%)	280.3(60%)	8.1(95%)	5.5(100%)
	前年	37.7	454.9	8.3	5.4
ふさおとめ 4/25移植	本年	34.1(101%)	316.8(63%)	8.2(93%)	5.3(99%)
	前年	39.7	506.2	8.9	5.4
粒すけ 4/25移植	本年	30.8(89%)	294.1(64%)	8.7(101%)	5.3(93%)
	前年	38.5	440.7	8.7	5.6
粒すけ 5/15移植	本年	20.9(86%)	88(66%)	6.1(107%)	3.3(89%)
	前年	24.8	137.3	6.1	4.2

・データの見方(調査基準について)

以下の図を参考に、稲を観察し、調査地点の数値と比較してみましょう。



次回の発行は6月19日を予定しています。